

第  
7  
編

震災から学んだこと

# 震災から学んだこと

今回の地震は当社始まって以来最大規模の地震であり、台風、大雨等の災害と違い地震特有の側面があった。私達はこれらの貴重な体験を今後の災害対策に活かしていかなければならない。次の項目はその概要をまとめたものである

## 1. 災害対策本部の設置

- ・電力所の災害対策本部の設置位置については、速やかに現地に移行することにより情報収集・復旧方針の強化につながった。今後も早期に現地対策本部を設置し情報収集等の体制強化をはかる必要がある。
- ・災害対策要員の確保については復旧活動が長期化することを予測し、早期に交替体制を取る等の検討を行う必要がある。また、交替制で対応するためには、対応レベル向上のための研修会等の開催が必要である。
- ・今回は勤務時間帯での地震発生であったが、休祭日や深夜に地震発生した場合を想定し、人事異動都度などに地震災害時の行動指針、非常体制時の役割等を徹底しておく必要がある。

## 2. 情報収集

- ・道路交通状態の把握・周知のため、管理区域図（土木事務所作成）を常時整備しておく必要がある。
- ・現地は調査と復旧活動が主体となり情報が時々とぎれた。現地出勤者のうち情報連絡に専念する者の指名か、または専任連絡員の早期派遣が必要である。
- ・事業所と作業現場との連絡手段について、無線、携帯電話、PHS等を使い分けることにより、情報連絡が混乱することがなかった。特に、PHSは通話回線の輻輳がなく通信の確保上重要であり、このように各種通信手段を活用した情報連絡の必要がある。

## 3. 復旧活動

- ・他支店、他事業所からの応援要請は、被災状況の把握を待つことなく震災規模によって行い早期に万全な復旧体制を確立する必要がある。
- ・応急復旧は余震が続く中での作業となることから、現場の安全配慮、二次災害の防止のため、作業責任者に注意事項を徹底させ作業する必要がある。
- ・現地作業、用地交渉、地域支援等の復旧活動は関係会社や取引先、退職者の皆様等多くの関係者のご協力によりスムーズな復旧対応が行えた。しかし、休祭日や深夜における地震発生や大震災を想定した場合の速やかな復旧体制を確立するためには、常日頃から関係会社等と一層緊密なネットワークを構築する必要がある。

## 4. 復旧支援活動

### (1) 総務関係

- ・兵庫県南部地震を教訓として毛布、非常食等は常備していたが、飲料水の備蓄や寝袋の整備、非常食の見直し等が必要である。

### (2) 広報関係

- ・地震発生後の公衆感電などの二次災害の防止の広報活動については、報道資料による依頼や民放への広告依頼により対応したが要請が遅れ気味であった。特に、NHK等を活用した二次災害防止の広報活動は効果的であり、今後事前協議を定期的に行い、緊急時の放送要請の体制を整備する必要がある。

また、自治体が整備している防災無線を活用した広報活動についても、鳥取県等と協議し連絡体制を確立していく必要がある。

- ・鳥取県災害対策本部への情報提供は鳥取県主催の防災訓練の成果により迅速的確に情報提供できた。特に、設備の状況等については、定期的に鳥取県災害対策本部を訪問し状況説明を行ったが、関係自治体へも綿密な情報提供が必要である。

### (3) 被災従業員支援関係

- ・非常災害を想定した情報伝達訓練、復旧作業訓練等は実施しているが、初期対応稼働人員の把握や家族を含めた安否確認の訓練を実施する必要がある。
- ・社宅の被害状況および社員家族の安否の確認を速やかに行うために、各社宅において災害時の情報連絡体制を確立し、各社宅幹事またはこれに代わるものが社宅の被害状況および社員家族の安否など、確実に会社に通報できるようなシステムづくりを構築する必要がある。

### (4) 資材関係

- ・発電機車が鳥取支店内に集結したが、運転状態になった場合、大量の燃料を継続的に確保することについては不安が残った。緊急時における対応可能な給油所の確保として、休祭日や深夜に営業している給油所、およびその緊急連絡先の一覧表を作成する必要がある。
- ・調達依頼が夜間に集中し、特に輸送会社の確保に困難を極めた。登録会社の拡大、緊急連絡先名簿の定期的な整備、見直し、取引先別の輸送能力の把握等を実施する必要がある。

### (5) 地域支援関係

地域支援活動や災害復旧ボランティア等の地域支援の取り組みは早期に行う必要があるが、現地はライフラインを守る立場から災害復旧に専念するため、現地中心の体制では対応が遅れが生じる。迅速に対応するためには、中電グループを含め地域を越えた体制で取り組む仕組み作りの構築が必要である。



資料

## 鳥取支店で作成した主な報道資料

(13:40)  
平成12年10月6日  
中国電力(株)鳥取支店

地震による災害対策本部の設置について

本日、13時30分、鳥取支店に非常対策本部を  
設置し、以下にてお知らせします。

現在(13時30分)の停電状況は西部地区  
(日野郡)を中心に約9,277戸停電して  
います。

※この5分間合せ先  
鳥取支店 災害対策本部  
0857-22-4583

様式 3  
平成12年10月6日  
中国電力(株)鳥取支店

【地震】による停電状況について (10月6日16時30分現在)

【地震】の影響による停電で大変ご迷惑をおかけしています。支店内の停電状況等は次のとおりです。

前回の情報提供からの 状況変化の有無	現在停電中の お客さま数	0 戸	延べ停電お客さま数 (重複部分を含む)	9,378 戸	(お客さま総数)	956,861 戸
-----------------------	-----------------	-----	------------------------	---------	----------	-----------

営業所名 (経路名)	停電事故 発生時刻	停電 お客さま数	停電 地域	原因	復旧時刻	延べ停電 お客さま数
米子 営業所 (米子線)	13:30	0 戸	米子市 清口町の一部		15:22	4,621 戸
米子 営業所 (米子線)	13:30	0 戸	日野郡 日南町		14:09	4,656 戸
米子 営業所 (米子線)			米子市 青木田地	高圧線一時断線 のFの緊急作業停電	16:22	101 戸
米子 営業所 (米子線)						
米子 営業所 (米子線)						
米子 営業所 (米子線)						
米子 営業所 (米子線)						
米子 営業所 (米子線)						
米子 営業所 (米子線)						

※黒川発電所(日野町)、旭発電所(和歌山)の配電用変圧器の保護装置が地震で動作し停電。15時30分完全復旧

【お問合せ先】  
非常災害対策本部  
応接室  
☎0857-22-4583

平成12年10月8日。

各位

中国電力株式会社  
鳥取支店非常災害対策本部

**鳥取支店非常災害対策本部の規模縮小について**

鳥取県西部地震による被害復旧作業にあたるため、10月6日13時30分に設置した鳥取支店非常災害対策本部は、供給支障が解消し復旧見込みがたったことに伴い、本日20時に規模を縮小しました。

なお、今後のお問い合わせについては下記まで連絡していただきますようよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

広報班長 速水（はやみ）  
090-3638-5186

以上



## 報道資料

平成12年10月10日  
中国電力株式会社  
鳥取支店非常災害対策本部

**鳥取県西部地震による鳥取県内の停電  
および設備の被害状況について（10月10日9時現在）**

10月6日に発生した鳥取県西部地震によって、鳥取県内では日野郡を中心に約9,300戸が停電し大変ご迷惑をおかけしました。当支店では、地震発生後の13時30分に非常災害対策本部を設置し、復旧作業にあたり約2時間後の15時22分に復旧いたしました。

しかしながら、地震の影響により、一部の設備に被害が生じ、鋭意、調査・修理作業を行ってまいりました。

つきましては、本日9時現在の主な状況について下記のとおり報告させていただきます。

## 記

## 1. 主な設備状況

## (1) 水力設備

・ 黒坂発電所水圧管路の表層すべりが発生しました。また、周辺地山からの湧水量の増加が一時的に認められましたが、現在、減少しています。このことについて、日野町役場および地元の方々と説明し、周辺地域への立ち入り制限の措置を行ないました。

地山および鉄管等工作物の調査（水路内部点検を含む）を行った結果、現状の設備では発電再開はできませんので、黒坂発電所の発電機は、2台とも停止しています。今後、抜本的な対策を早急に検討し対策を講じます。（被害箇所 別図①参照）

## (2) 送電設備

・ 鳥取県西部地区の各送電線（建設中を含め）については、ヘリコプター巡視を終え、各基別に目視による点検を行い、現在までに22%終了しました。

点検の結果、一部地崩れ等により影響の大きい箇所は補強、地割れによる箇所は防水シートによる雨水防止対策を行いました。今後とも継続して点検を行い、個別の状況に応じた対策を実施します。（被害箇所 別図②参照）

## (3) 変電設備

- ・ 地震発生時に黒坂発電所、旭発電所の配電用変圧器の保護装置が作動し、日野郡を中心に一時的に停電しましたが、0.5～2時間後に復旧しました。
- ・ 日野発電所500kV変圧器2台のうち1台の変圧器の220kV用がいし部分が破損。現在、もう1台の変圧器で送電中です。その後、使用中の変圧器を調査したところ、がいしから少量の油漏れが見られたため、該当の機器を修理しました。（被害箇所 別図③-1～3参照）

## (4) 配電設備

- ・ 配電設備の主な被害については、点検巡視を完了し、電柱傾斜250箇所など総数258箇所が発生しましたが、緊急を要するものは既に復旧済です。

## 2. 復旧体制について

## (1) 防災体制および稼働人員

## (防災体制)

10月6日（金）13時30分	非常体制
13時50分	特別非常体制
10月8日（日）9時00分	非常体制
10月10日（火）9時現在	引き続き非常体制を継続中です。

## (稼働人員)

当支店社員および工事会社、他県からの応援を合わせ4日間で、延べ約1,400名で復旧作業を行い、なお継続中です。

## (2) 発電機車の配備

余震等による被害発生に備え、鳥取支店内の発電機車4台のほか中国地方各所から28台を出動させ待機させておりましたが、8日12時に解除しております。

\*復旧時刻については、集計誤りのため、15時22分に修正します。

以上



## 報道資料

平成12年10月13日  
中国電力關島支店

鳥取県西部地震による鳥取県内の停電  
および被害設備の復旧状況について（最終報告）

10月6日に発生した鳥取県西部地震によって、鳥取県内では日野郡を中心に約9,300戸が停電し大変ご迷惑をおかけしました。当支店では、地震発生後の13時30分に非常災害対策本部を設置し、復旧作業にあたり約2時間後に復旧いたしました。しかしながら、地震の影響により、一部の設備に被害が生じ、8日間に渡り、鋭意調査・修理作業を行ってまいりました。その結果、停電が生じることはないと考えておりますので、本日17時に非常災害対策本部を解散しました。

## 記

## 1. 主な設備状況

## (1) 水力設備

・黒坂発電所水圧管路の表層すべりが発生しました。また、周辺地山からの漏水量の増加が一時的に認められましたが、現在、減少しています。このことについて、日野町役場および地元の方々に説明し、周辺地域への立ち入り制限の措置を行ないました。

地山および鉄管等工物の調査（水路内部点検を含む）を行った結果、現状の設備では発電再開はできませんので、黒坂発電所の発電機は、2台とも停止しています。今後、抜本的な対策を早急に検討し対策を講じます。

## (2) 送電設備

・鳥取県西部地区の各送電線（建設中を含め）については、ヘリコプター巡視を終え、各基別に目視による点検を行い、100%終了しました。点検の結果、一部地崩れ等により影響の大きい箇所は補強、地割れによる箇所は防水シートによる雨水防止対策を行いました。

## (3) 変電設備

・日野変電所500kV変圧器2台のうち1台の変圧器の220kV用がいし部分他が破損については、今月末を目途に復旧を行っています。

## (3) 変電設備

・地震発生時に黒坂発電所、旭発電所の配電用変圧器の保護装置が作動し、日野郡を中心に一時的に停電しましたが、0.5～2時間後に復旧しました。  
・日野変電所500kV変圧器2台のうち1台の変圧器の220kV用がいし部分他が破損。現在、もう1台の変圧器で送電中です。  
その後、使用中の変圧器を調査したところ、がいしから少量の油漏れが見られたため、該当の機器を修理しました。（被害箇所 別図③-1～3参照）

## (4) 配電設備

・配電設備の主な被害については、点検巡視を完了し、電柱傾斜250箇所など総数258箇所が発生しましたが、緊急を要するものは既に復旧済です。

## 2. 復旧体制について

## (1) 防災体制および稼働人員

## (防災体制)

10月 6日（金）13時30分 非常体制  
13時50分 特別非常体制  
10月 8日（日） 9時00分 非常体制  
10月10日（火）9時現在、引き続き非常体制を継続中です。

## (稼働人員)

当支店社員および工事会社、他県からの応援を合わせ4日間で、延べ約1,400名で復旧作業を行い、なお継続中です。

## (2) 発電機車の配備

余震等による被害発生に備え、鳥取支店内の発電機車4台のほか中国地方各所から28台を出動させ待機させておりましたが、8日12時に解除しております。

\*復旧時刻については、集計誤りのため、15時22分に修正します。

以上



## 報道資料

平成12年10月17日  
中国電力株式会社  
鳥取支店

## 電気相談窓口の開設について（お知らせ）

この度の鳥取県西部地震により被害を受けた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。この地震で被害を受けられました。1人住まいの高齢者のお客さまの電気設備等について、ご相談をお受けするため、株式会社中電工のご協力を得、電気相談窓口を開設いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 1人住まいの高齢者のお客さまなどの相談窓口

保健婦さんなど県や市町村の職員の皆さまが、1人住まいの高齢者のお客さまなどの訪問時に、収集・開取された電気相談情報に早期対応するため、鳥取県西部健康福祉センターと当社の米子営業所に連絡体制を確立しました。

## (1) 連絡体制

鳥取県西部健康福祉センターが市町村からの情報、巡回訪問で収集した情報を取りまとめ、当社米子営業所お客さまセンターの相談窓口へ連絡する。

## 【当社の相談窓口】

中国電力（株）米子営業所お客さまセンター  
米子市加茂町二丁目51 電話0859（22）2226

## (2) 対応内容

屋内配線等の診断と危険箇所の応急処置など

## (3) 設置期間

10月17日（火）から（当分の間） 毎日、9時から17時まで

## 2. 一般のお客さまの電気相談窓口の開設

一般のお客さまにつきましては、中国電力（株）米子営業所お客さまセンターへお受けいたします。

## ◎中国電力（株）米子営業所お客さまセンター

米子市加茂町二丁目51 TEL 0859（22）2226

なお、日野町につきましては、下記のとおり、移動相談所を設置いたしておりますので、ぜひご利用ください。

## ◎日野町移動相談所

場所 日野町根掛39-4（株）中電工根掛営業所内でお受けいたします。  
電話 0859-72-0308

期間 平成12年10月16日（月）～10月20日（金）まで

以上



## 報道資料

平成12年11月24日  
中国電力株式会社  
鳥取支店  
米子営業所

日野町仮設住宅への街路灯設置について  
—鳥取県西部地震の被災者に対する支援活動—

鳥取県西部地震で被災された皆さまへの復興支援活動として、下記のとおり日野町仮設住宅4地区内に街路灯（5灯）を設置しますのでお知らせします。

## 記

## 1. 設置箇所および設備内容

(1) 野田団地 1灯（20W蛍光灯）  
(2) 安原団地 1灯（20W蛍光灯）  
(3) 下覆団地 1灯（20W蛍光灯）  
(4) 黒坂団地 2灯（20W蛍光灯）

なお、設置場所等については日野町役場、居住されている方々のご相談のうえ設置させていただくこととしました。

## 2. 設置日

平成12年11月27日（月）

以上

## お問い合わせ先

鳥取支店 総務広報担当 西山  
PMS 070-5828-0964  
TEL 0857-21-3007

# 主な当社関連記事

12.10.7 日本海新聞



六日午後発生した鳥取県西部を震源とするマグニチュード(M)7.3、最大震度6強の地震について、気象庁地震津波監視課の三上直也補佐官は同日、記者会見し「今後、一日以内にM6以上の余震が発生する確率は四〇〇程度でかなり高い」と述べ、今後の余震に厳重な警戒を呼び掛けた。

また、三上補佐官は今回の地震の発生メカニズムについて、北西―南東方向に走る断層が横ずれして発生したとし「この地点での活断層の存在は知られておらず、未知の活断層だった可能性がある。特に危ない地域との認識はなかった」と話した。

七日にも機動観測班を現地に派遣し、調査する。同行によると、余震の揺れは震源の真上だと震度6弱に達する恐れがあり、強い揺れが広い範囲に及ぶ可能性があるという。

鳥取県は、一九四三年に県東部を震源とするM7.2の「鳥取地震」が発生し死者千人以上が出るなど地震の多発地域。同県西部には目立った活断層は見つかっていないが、たびたび規模の大きい地震が発生しており、潜在的な活断層が存在する可能性があるという。

## 10・6ドキュメント

13時30分 鳥取県西部地震発生

30分 中国電力鳥取支店が非常対策本部を設置。旭発電所、黒坂発電所が停止。西部地区(主に日野郡)を中心に約九千二百七十七戸停電

43分 鳥取県が各土木事務所にパトロール指示

45分 米子自動車道が点検による通行止め、国道181号の日野町根雨陸橋通行止め

46分 西伯町賀祥ダムで被害の情報

46分 鳥取県災害対策本部設置。知事が本部長

46分 鳥取県庁二階に危機管理室設置へ

47分 米子市加茂町ビルの火災鎮火

48分 米子市和田町の民家が倒壊。市道をふさいでいるのを市民が見つけ、通報

50分 鳥取県が道路、河川、海岸、港湾施設を班編成してパトロール開始

50分 鳥取県警が県内全署に災害対策本部設置

55分 溝口町停電

14時0分 米子市彦名の民家の水道管破裂を通報

0分 境港市で一戸倒壊

0分 境小で子ども避難

0分 海異常なし

8分 黒坂発電所復旧

9分 片山知事が対策本部に入室。各部長から各部署の被害報告を受ける

14分 米子市旗ヶ崎の地面が盛り上がり水があふれているとの通報が入る

14分 米子市の倒壊したビルの外傷者なしを確認

25分 米子市富士見町一丁目の民家前の下水道ためますが四一五メートル、深さ五十センチ陥没しているのを市民が見つけ、通報

通報

29分 知事が自衛隊に救助要請

30分 米子ガスが家屋十件、道路四件のガス漏れ確認、場所は特定できず

40分ごろ 森首相が片山鳥取県知事に電話。首相「できることがあったらやる。自衛隊の要請はしましたか」知事「しました。中国五県の消防機関など防災に対処する出動に対して許可を得ました」

42分 米子市の東倉吉町のスナックからガス漏れなしと確認の電話あり

15時6分 西部上空を飛ぶ県のヘリのテレビ映像によると、日野町地内国道180号と並行しているJR伯備線が土砂崩れによって寸断

28分 旭発電所復旧

15時38分 鳥取西部広域行政管理組合に、大山の三鈴峰(さんごほう)で地震による土砂崩れがあり、登山中の男性一人、女性四、五人が下山できないでいると連絡が入る

17時50分 余震がひどい西伯町が自主避難を呼びかけ

20時30分 国土庁の連実進総括政務次官が県庁の対策本部到着、「地震の規模の大きさに驚いたが、被害は現在最小限に収まっている。山岳地であることが幸いした。今後政府をあげて万全の態勢を整えたい」

# 島根原発 異常なし

島根県鹿島町の中国電力島根原子力発電所は、島根原発1号機（出力四十万kw）が炉心隔壁（シニラウド）交換、同2号機（同八十二万kw）が定期点検中、ともに運転を休止しており、原子炉など各施設に異常はなかった。周辺への放射線漏れも確認されていない。

同原発広報課によると、地震発生時に中央制御室の警報が作動。直後から職員約百二十人態勢で、原発内のプラント全域をパトロールし、午後三時十分までに設備の故障や破損などの異常がないことを確認した。

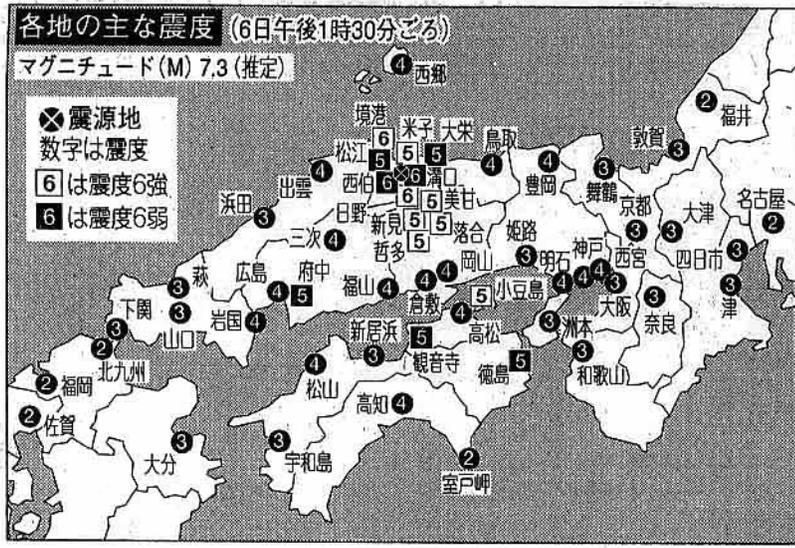
原子炉建物基礎上で観測した地震加速度は、最大で水平方向が約三十五ガル、垂直方向が約三十二ガル。原子炉の自動停止設定値（水平百四十ガル、垂直七十ガル）を下回った。

地震のマグニチュード（M）7.3は、原子炉施設などの耐震設計値（M7

・5）以下だった。小原章次広報課長は「通常運転していたとしても、原子炉が自動停止するような地震ではなかった」とした。

安全協定に基づく県と松江、鹿島、島根の関係市町への連絡は、発生から十分以内に電話で行った。所内は人や車の往来も少なく落ち着いた様子だったが、広報課などがある管理事務所二階フロアでは、職員がテレビの地震速報に注視し、電話対応に追われた。

12.10.7 山陰中央新報



# 動き出す復旧への営み

## 電気、水道ほぼ確保

### 寸断交通網なお時間

12.10.8 山陰中央新報

鳥取県西部地域に覆われた鳥取西部は七日断続的に余震が続く中、懸命の復旧作業が進められ、電気や水道、電話などのライフラインはほぼ確保された。しかし大震災のつゆ断は深く、多くの道路や交通網が引き続き途方も閉鎖が続くなど、交通網の完全回復にはまだ

時間がかかりそうだ。

#### 水道

米子、境港両市、日野町、村に給水する米子市水道局によると、水道管の破損は午後六時現在で計約六百カ所に達したが、七日夜までに復旧した。水圧を通常の三分の一ま

で減圧したため水が止まらなくなった。同日午後一時には水圧を通常の半分まで戻した。完全回復にはもう数日かかる見通し。

をすべて修えた。七日は引き続き、電柱から需要家までの引き込み線の復旧に当たり、午後五時半までに完全回復した。

七日午後五時半までに米子市、日野町などの五カ所を除いて復旧した。

#### 電話

日野町板井原と、同町三士でけ断れたため計百二十対のケーブルが損傷し約千回線が不通となった。だが、七日午後二時二十分ごろまでに復旧。同様にけ断れた不通になった瀧口町平代、日野町下曾岡地区の約八十回線は六日深夜に復旧した。

六日から運用した災害用伝言ダイヤル（177）は、七日午後三時までに伝言の録音が約十二万七千件、伝言の再生が約六万六千件あった。大半が同日早朝までの

#### 電気

六日に県内の約九千四百世帯が停電したが、同日午後四時二十分すぎまでに電柱までの配電線の復旧工事

#### ガス

米子、境港両市内で六日に十三件、七日は午後五時半までに十六件、計三十九件のガス漏れがあったが、

利用。  
携帯電話は、NTTドコモ中国支店（広島市）は六日午後十一時四十三分、「完全に通話の状態になっ

たと、復旧宣言した。



給水を受ける住民。断水はほぼ復旧したが、漏っており、飲めない状態が続いている＝7日午前9時、鳥取県会見町市山

大地震から一夜明けた鳥取県西部地方は七日、余震が続く中で電気、水道、ガスなどライフラインの復旧作業が進められた。JRや空港の再開に向けた補修も急ピッチ。各地からのボランティアや、高齢者施設や街角に駆け付けた。災害用の食料備蓄を一切しない自治体もあり、阪神大震災の教訓を生かした自治体との間で差が現れた。

12.10.11 日本海新聞ほか

**謹んで災害の  
お見舞いを申しあげます。**

このたびの平成十二年鳥取県西部地震により、災害をうけられた皆さまに謹んでお見舞い申しあげます。このうえは一日も早い復旧と、皆さまのご健康を心から祈り申しあげます。

なお、被災されました皆さまには、電気料金等の特別措置を設けることといたしましたので、最寄りの当社営業所にご連絡いただきますようお願いいたします。

◎特別措置の概要について

一、対象地域  
災害救助法が適用された米子市、境港市、日野町、西伯町、溝口町、会見町およびこれと同程度の被害をうけられた隣接する市町村。

二、特別措置の内容

(一) 電気料金のお支払い期日の延伸  
平成十二年九月分、十月分および十一月分の電気料金お支払いについて早取期間・支払期限をおのおの一月間延伸いたします。

(二) 電気料金の免除（不使用の場合）  
被災日から引き続き全く電気を使用されない場合には、六カ月に限り電気料金を無料といたします。

(三) 基本料金の一部免除  
従量電灯B、時間別電灯、低圧電力、業務用電力、高圧電力A、臨時電力、深夜電力等のお客さまで、電気設備が災害のため、復旧までに一時使用不能となったものについては、平成十三年四月三十日までの間は、その使用不能設備の相当する基本料金を無料といたします。

(四) 臨時工費の免除  
被災後、平成十三年四月三十日までに被災地と同一場所に臨時電灯または臨時電力の使用を申し込まれた場合は、その臨時工費を無料といたします。以上

※ 右記の他に工事費負担金等についての特別措置を設けておりますので、詳細につきましては最寄りの当社営業所にお問い合わせください。  
平成十二年十月

**中国電力株式会社**

12.10-11 山陰中央新報

被災地域の電気料金  
支払い1カ月間延長  
——中電——  
中国電力(本社・広島市)

12.10-11 日本海新聞

**中電が電気料金  
免除の特別措置**

中国電力は十日、鳥取県西部地震で家屋損壊などの被害にあった県西部の市町村(名和町を除く)や安来市などの利用者に、不使用月の電気料金免除などの特別措置を行うことを発表した。

内容は①十、十一月の電気料金の早取期間と支払期限を各一月間延伸②不使用月の電気料金、六カ月間無料③工事費負担金の免除④臨時工費の免除など。

問い合わせは、中国電力米子営業所お客さまセンター(電08659-2212226)へ

は十日、申し出のあった鳥取県西部地震の被災者に対し、十、十一月分の電気料金の支払期限を一月間延伸することを決めた。

対象地域は鳥取県が米子、境港、日野、溝口、西伯、会見、岸本、淀江、大山、日

南、江府、日吉津の各市町村。鳥取県は安来、美保関、八束、伯太の各市町。

問い合わせは中電米子営業所(電話08659-2212226)・(松江営業所)同08622-2711001・(安来サービスセンター)同0864-2212226)。



# 激震 その時

「鳥取県西部地震」

<3>

日ノ丸産業米子営業所(米子市米原二丁目)の寮。昼食も終わった。予定のない休日。プロパンガス担当の西垣信吉(50)さんは、四畳半の真ん中で寝転び、テレビを見ていた。

体をほじき上げると、妙な揺れ。気が付くと、ユニットバスの中にいた。Tシャツと短パンのまま、サンダルを引っ掛ける。玄関ドアを開けた。寮は会社の敷地内。ガスボンベが倒れ、そこから煙が立っていた。

山陰中央新報

## ライフライン

# 被害調査、復旧に奔走

た。が、ボンベには数十本だけ手配して」。書類を拾う。給水維持係から「曇をい上げていた会計係の小野つかむよな要請」。応接職員、作業員のための普設はデスクワーク。投量や布団…。電話帳をめぐり中電灯三十個」を思い出す。非常態勢を解除。

「道路にひび割れがあるけど、ガス使っても大丈夫」。轎轡も持たずに車に乗り込んだ。

寮市内の集居地に着く。地震から三十分たっていた。ガス検知器片手に歩き出す。足元にひび割れが。右にも、左にも真夏の住居で、アスファルトが「悲鳴」を上げている。



「水道管は大丈夫か」。余震で道路が陥没、懸命な被害調査が続く。8日午後10時半ごろ、米子市安荷、安荷警察団地

りダイヤルする。しかし「電話がなかった」。ダイヤルの局長室からかかった。

夕方、局舎裏の駐車場に鳥取市水道局や業者のトラックが次々着いた。車が止められない。資機材の置き場がない。荷降ろしする人がいない。排ガスが立ち込め、空気がよどむ。

庁舎に戻る。営業職員も

い。ガスの危険がつかめない。「地下の導管から漏れてないか」。鼓動が高まる。階面にある検知口からガス圧をチェックする。二、三におきまに約言カ所。

立ち話をする女性の数が増えた。既にガスを使い始めている家庭も。夕飯の用意も。夕飯の用意も。夕飯の用意も。

「水道管は大丈夫か」。余震で道路が陥没、懸命な被害調査が続く。8日午後10時半ごろ、米子市安荷、安荷警察団地

した。

中国電力米子営業所(米子市加茂町二丁目)。「約束の時間が迫っている。中曾敏允・配電運営課長(55)は席を立った。揺れた。机にしがみついた。踏ん張るのが精いっぱい。

警報が全館一斉に鳴り響く。聞こえなかった。「慌てたらいけません」。阪神大震災後、関西電力の担当者は繰り返した。その言葉が聞こえた。営業所の復旧責任者。一時間たった。一方所復旧しない。

桝水地区(四百三十八戸、鳥取県溝口町)。「早く」。5時に三十分。情報室。配電システムのモニターが黒紙から赤に。復旧。しかし通電復旧が、始まりだった。「電線が垂れ下がっている」「電柱が倒れそう」。地震発生二日後、非常態勢を解除。



12.10.19 電気新聞

中国電力は十七日、鳥取県西部地震で被害を受けた独り住まいの高齢者などを対象に、電気設備に関する相談を受ける窓口の開設ほか、中電工の協力を得るなどして早期対応のための体制を整備した。地域の被災した高齢者などの情報が集まる鳥取県西部健康福祉センターとの間に連絡体制を確立して、情報を一元化する。これによりスムーズな屋内配線診断などの対応を図っている。

被災地域の県や市町村の職員は、それぞれの地域で独り住まいの高齢者宅などを訪問し、各種相談に応じている。このた

**鳥取県西部地震  
高齢者など対象  
相談窓口を開設**

中国電力

め同社は米子営業所と、こうした相談内容の集まる鳥取県西部健康福祉センターとの間に連絡体制を整備。聞き取りなどの中で収集された電気設備の診断や、危険箇所の応急措置などを実施している。同相談窓口は、十七日から当面の間、連日午前九時から午後五時まで設置されており、こうした対応に取り組んでいる。

このほか一般の顧客からの相談についても、米子営業所お客さまセンターで対応中。さらに、被害の大きかった日野郡日野町には、中電工の根拠営業所内に移動相談窓口を設置。中国電力米子営業所員が出向いて、十六日から二十日まで相談に応じている。

12.10.18 日本海新聞

**被災者情報**

◆中国鳥取支店が相談窓口を開設

中国電力鳥取支店は十七日、地震で被災した独り暮らしの高齢者の電気設備について、米子営業所(米子市加茂町二丁目)に電気相談窓口を開設した。

県や市町村の職員が独居高齢者を訪問した際、聞き取った電気相談情報に早期に対応するのが狙い。県西部健康福祉センターが市町村からの情報を取りまとめ、相談窓口を連絡する。

一般の利用者の相談も米子営業所お客さまセンター(電話0859-221-2226)、日野町移動相談所(電話0859-721-0888)で受け付け

12.10.18 山陰中央新報

**鳥取県西部地震**

**サポート情報**

◆中国電力は電気相談窓口を設置、電気設備関係の相談に応じる。

米子営業所お客さまセンター(電話0859-221-2226)で当面の間、午前9時午後5時まで対応。日野町の中電工根拠営業所(電話0859-722-0308)でも受け付け。20日まで。

12.11.5 日本海新聞

**被害なかった  
部門の検証も**

伊藤 寛（米子市加茂町、75歳）

先の西部地震での被害状況は対策とともに記録され、後世の資料として保存されるが、それと

もに被害のなかった部門のことも検証しておく必要があるのではと思う。

例えば、私の周辺では電気と水道にトラブルは発生せず、地震のなかでも信号機は点灯していたし、断水もなかった。そんな状況でも夕方には市内のスーパーから水と食料が姿を消したようだが、もし電気と水道が止

まったら、かなりのパニックになったのではないか。

電気・水道とも、たまに無事故だったのか、普段からの耐震対策のせいか分からないが、供給責任を果たしたのは評価できると思う。ことわざに「無事これ名馬」というのがある。あの大地震でも無事に任務を果たした事業のことを、電気・水道を含めて後世に残したいものである。

12.11.28 日本海新聞



街路灯を設置する作業員

**中電が街路灯設置**

日野町の仮設住宅

中国電力鳥取支店（鳥取市新治町）と米子営業所（米子市加茂町二丁目）は鳥取県西部地震の被災者への復興支援として二十七日、日野町内四カ所の仮設住宅に街路灯を設置した。

夜間の通行時に仮設住宅の入居者が不便ではと、日野町に設置を申し出た。街路灯は二〇の蛍光灯で、野田、安原、下樓地区の仮設住宅に各一灯、最も規模が大きく十六世帯が入居する黒坂地区に二灯を設置した。黒坂地区の仮設住宅に入居する恩田孝雄さん（65）は「年寄りが多く、夜は足元が心配だったので、ありがたい」と取り付け作業を見守りながら喜んでいました。

### 地域支援活動に対する礼状

拝啓 初冬の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、平成十二年十月六日の午後一時三十分ごろ発生した鳥取県西部地震（本  
町は震度六強、マグニチュード七・三を記録）により、日野町は全町におよぶ  
未曾有の大被害に見舞われました。

その節には、急きょかけつけて救援活動や心温まる激励のお言葉をちようた  
いし、また義援金、見舞いの品々を頂き誠に有り難うございました。  
地震による被害は、調査が進むにつれて、住宅（町民全戸）、公共施設、道路、  
農林業・商工業全てに及び、避難者は、ピーク時には十か所で約八百人に達し  
ました。被害はあまりにも甚大で、町職員や町消防団等の能力を超えるもので、  
なす術がありませんでした。

その様な中で鳥取県を始め自衛隊、県内及び近県隣接市町村、企業並びに各  
種団体、また、ボランティアで全国から応援に来ていただき、住民の生命せん  
でもある炊飯や飲料水、ライフラインの復旧、またガレキの片付け等を頂きま  
した。この力強い救助・救援活動は、沈痛な町民の心の支えと大きな励みとな  
りました。

今回は、大災害であったにもかかわらず、命をなくされた方が一人もなく、  
また火災が発生しなかったことが不幸中の幸いであったと思っております。  
震災から約一か月経った十一月一日に「日野町地震災害復興本部」を設置し、  
鳥取県が新規に創設された住宅復興補助金や町債等を財源として、今回、地震  
災害復興予算を約五十五億円（平成十一年度一般会計決算額約三十六億七千万  
円を大幅に上回る）を計上した次第です。

この災害から立ち直るため、今こそ『愛と元氣なまちづくり』を合い言葉に  
町民みんなで力をあわせて一日も早い復興に向けて頑張っております。  
この度の震災に対しまして、物心両面にわたり大変ご心配をお掛けしました。  
ここに、謹んで厚くお礼申し上げます。 敬具

平成十二年十二月吉日

鳥取県日野郡日野町根雨一〇一番地  
中国電力株式会社  
理事 鳥取支店長  
日野町長 生田 秀正  
沖 純次 様

平成十二年十二月

中国電力(株)  
鳥取支店 米子営業所 様

鳥取県境港市 市長

黒見 哲夫

平成 12 年 11 月 28 日

中国電力株式会社鳥取支店長 様

米子市長 森田 隆朝

明けまして  
おめでとうございませう

この度は素適なプレゼント（オムカントスター）を  
お送り頂き有り難とうございませう。  
震災で何となく家族全員 元氣がな  
日々過ごして以来先の方で、とてもうおしく  
あんなにかい気持りになる事や出来ませう。  
有り難なく使わせて頂きたいと思ひませう。  
皆様もお体の自愛の程 お過ごし下さいませ。



# 鳥取県西部地震から2ヵ月半 経験を今後の防災に生かし



鳥取県西部地震から2ヵ月半が経過した。被災地では、被害の復旧作業が本格化している。一方で、今後の防災に今回の経験をどう生かすか、関係者からは課題が指摘されている。

鳥取県西部地震は、11月15日午後11時50分頃、鳥取県西部を震源とするマグニチュード6.8の地震が発生した。震源地は、鳥取県西部の鳥取市から約10キロメートルの地点で、震源の深さは約10キロメートルと推定されている。地震発生後、鳥取県西部を中心に、多くの建物が倒壊し、多くの犠牲者を出した。また、多くの家屋が被害を受け、多くの人が無家失所となった。地震発生後、鳥取県西部を中心に、多くの建物が倒壊し、多くの犠牲者を出した。また、多くの家屋が被害を受け、多くの人が無家失所となった。

## 地震発生20分後には特別非常態勢

鳥取県西部地震発生後、鳥取県西部を中心に、多くの建物が倒壊し、多くの犠牲者を出した。また、多くの家屋が被害を受け、多くの人が無家失所となった。地震発生後、鳥取県西部を中心に、多くの建物が倒壊し、多くの犠牲者を出した。また、多くの家屋が被害を受け、多くの人が無家失所となった。

## 中国電力社員座談会



中国電力社員座談会。被災地での経験と今後の防災について、関係者からは課題が指摘されている。

### 座談会の出席者

	米子営業所総務課副長
	鳥取支店工務担当マネージャー
	米子営業所お客さまセンター主任
	鳥取支店総務広報担当マネージャー

## 心強い高圧発電機車 阪神での応援経験に学ぶ

阪神での応援経験に学ぶ。高圧発電機車の性能と、被災地での活用について、関係者からは課題が指摘されている。

高圧発電機車の性能と、被災地での活用について、関係者からは課題が指摘されている。



## 現場重点主義貫く 「漏れのない情報収集」を实践

現場重点主義貫く。被災地での経験と今後の防災について、関係者からは課題が指摘されている。

被災地での経験と今後の防災について、関係者からは課題が指摘されている。

### 復旧マニュアルに沿い対応 協力会社との連携も機能し

復旧作業の進捗と、被災地での経験と今後の防災について、関係者からは課題が指摘されている。

### 停電へ速やかな対応 台風への備え役立つ 燃料面では反省点も

停電への対応と、被災地での経験と今後の防災について、関係者からは課題が指摘されている。

<p>を支援して</p> <p>中国電力鳥取支店 鳥取県西部地震復興 特集</p>	<p>最新最前線!</p> <p>新東電気工事株式会社</p>	<p>送電線建設工事 設計施工</p> <p>岳南建設株式会社</p>
<p>大亜工業株式会社</p>	<p>内村電機工務店</p>	<p>技術で創る未来へのかけ橋</p> <p>株式会社 サンテック</p>
<p>送電線・地中ケーブル・通信ケーブル</p> <p>田熊工業株式会社</p>	<p>架空・地中送電線</p> <p>東洋電気工業株式会社</p>	<p>電力×技=∞</p> <p>東原工業株式会社</p>

## 編集後記

本書は、鳥取県西部地震により中国電力が受けた被害と復旧活動について、鳥取支店を主体に、取り急ぎその実態をまとめたものです。編集にあたっては、鳥取県等の関係自治体、報道機関、本店、各支店から資料提供などの多大なご協力に感謝申し上げます。各所をはじめ、各位の今後の防災対策のご参考になれば幸いです。

### 鳥取県西部地震復旧記録

発行年月日 平成13年3月30日

発行者 中国電力株式会社鳥取支店

編集 〒680-8666

鳥取県鳥取市新品治町1番地2

中国電力株式会社鳥取支店

鳥取県西部地震復旧記録編集委員会

委員長 速水 敏人

委員

川上 和男 前田 裕史 田中 繁親

前田 良一 青木 尚 小谷 弘勝

安宅 晴美 田中 信夫 山根 明

宮川 輝男 白石 啓二 西村 克典

藤井 信良 生田 洋子

印刷 産興株式会社

